



下呂市天然記念物 位山八幡神社の社叢

[http://digitalarchiveproject.jp/information/下呂市天然記念物 位山八幡神社の社叢](http://digitalarchiveproject.jp/information/下呂市天然記念物_位山八幡神社の社叢)



鎮座地 萩原町山之口字神屋 1,272 番地

白幣社（旧社格 指定村社）

一、祭神 主神 応(おう)神(じん)天皇

仁(にん)徳(とく)天皇

神(じん)功(ぐう)皇后

配祀 氏子出身靖国の神霊 30 柱

一、由緒 創建年代は不詳であるが、国説に、第 16 代仁徳天皇の 65 年、飛騨国両面宿禰追討の勅命を奉じた武(たけ)振(ふる)熊(くまの)命は、進軍の各所で先帝応神天皇の尊霊を奉祀し、戦勝を祈願された祭場遺蹟であろうと称せられる。中津原・乗政・森・久津・一宮・石浦・高山等と共に「飛騨八幡八社」の 1 であるとも伝えられている古社である。

第 42 代文武天皇の大宝律令制定による、東山道の官道筋であったが、のち天正年間(1573～1592)金森長近が、飛騨国主となると、位山の険を避けて、上呂より小坂・久々野・一宮に至る河内路を、公道に切り替えたので、かつての道は廃道となり、大正の頃まで、専ら高山に至る歩道として利用された。

また、里伝に宮坂の現地と、森の幅・上馬瀬戸にあった 3 社を、合併合祀したとも伝えられる。

戸田采女正による元禄検地には、境内社地に 1 反 6 畝 10 歩の除地を受け、明治維新には村社に列格し、同 40 年神饌幣帛料の供進指定、並びに神社会計適用指定を受けた。

この地は古来、大野郡久々野郷に属し、一宮神領として 1 村 1 区 1 神社であったが、昭和 31 年に益田郡萩原町に合併し、神社もまた益田郡支部川西部会に編入されて、社名も「位山八幡神社」と改称された。

創建以来の記録は少なく、棟札には文政 10 年・嘉永元年・大正 2 年等に、拝殿を再建したことがわかる程度である。

本殿は小社ながらも郡内における代表的な建築様式である。

終戦後、神社林の伐採により、往時の景観を失ったが、なお境内には、県指定天然記念物の「夫婦杉」・「一位樹」等がある。

<引用文献>

土田吉左衛門・益田郡支部 熊崎善親編集『飛騨の神社』1,148～1,149 頁 飛騨神職会発行 昭和 62 年



001_①入口001



002_①入口002



003_①入口003



004_①入口004



005_①入口005



006_①入口006



007_①入口007



008_①入口008



009_①入口009



010_①入口010



011_②入口から見る集落001



012_②入口から見る集落002



013_②入口から見る集落003



014_②入口から見る集落004



015_②入口から見る集落005



016_③鳥居周辺001



017_③鳥居周辺002



018_③鳥居周辺003



019_③鳥居周辺004



020_③鳥居周辺005



021_③鳥居周辺006



022_④拝殿周り001



023_④拝殿周り002



024_④拝殿周り003



025_④拝殿周り004



026_④拝殿周り005



027_④拝殿周り006



028_④拝殿周り007



029_④拝殿周り008



030_④拝殿周り009



031_④拝殿周り010



032_⑤本殿下の拝殿周り001



033_⑤本殿下の拝殿周り002



034_⑤本殿下の拝殿周り003



035_⑤本殿下の拝殿周り004



036_⑤本殿下の拝殿周り005



037_⑤本殿下の拝殿周り006



038_⑤本殿下の拝殿周り007



039_⑤本殿下の拝殿周り008



040_⑤本殿下の拝殿周り009



041_⑤本殿下の拝殿周り010



042_⑤本殿下の拝殿周り011



043_⑥本殿内部001



044_⑦本殿から四方001



045_⑦本殿から四方002



046_⑦本殿から四方003



047_⑦本殿から四方004



048_⑦本殿から四方005



049_⑦本殿から四方006



050_⑦本殿から四方007



051_⑦本殿から四方008



052_⑦本殿から四方009



053_⑦本殿から四方010



054_⑧幣殿、本殿四方、社叢001



055_⑧幣殿、本殿四方、社叢002



056_⑧幣殿、本殿四方、社叢003



057_⑧幣殿、本殿四方、社叢004



058_⑧幣殿、本殿四方、社叢005



059_⑧幣殿、本殿四方、社叢006



060_⑧幣殿、本殿四方、社叢007



061_⑧幣殿、本殿四方、社叢008



062_⑧幣殿、本殿四方、社叢009



063_⑧幣殿、本殿四方、社叢010



064_⑧幣殿、本殿四方、社叢011



065_⑧幣殿、本殿四方、社叢012



066_⑨社叢、巨石001



067_⑨社叢、巨石002



068_⑨社叢、巨石003



069_⑨社叢、巨石004



070_⑨社叢、巨石005



071_⑨社叢、巨石006



072_⑨社叢、巨石007



073_⑨社叢、巨石008



074_⑨社叢、巨石009



075_⑨社叢、巨石010



076_⑩看板001



077_⑩看板002



078_⑩看板003